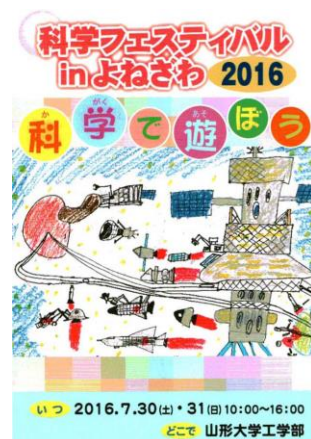


科学フェスティバル in よねざわ 2016

技術部調整連絡担当 山吉康弘

毎年夏の恒例イベントとなった「科学フェスティバル in よねざわ 2016」が7月30日(土)・31日(日)の2日間にわたって本学において開催された。初日の午後にはゲリラ豪雨に見舞われた他は2日間共に天候に恵まれ、昨年度並みの2041名の来場者があった。今回が9回目となるが、親子連れが多い中で子供会や小学校のクラス行事で参加する団体もあり、地域に密着したイベントとして認知された感がある。今年の体感スペースの総数は45件と昨年よりも増えたが、技術部からは場所の都合により昨年よりも1件少ない下記の4件を出展した。技術部のスペースはいずれも100人を超える体感者があり興味深い内容であったが、中でも地域連携担当の体感スペースの人气が高く同じ来場者が何度も体感していた。場所が主会場の通路にあったせいもあるが子供に人気の高い電車を自分の力で走らせ、かつ競争に勝つ優越感を味わえることが子供にも大人にも人気を生んでいると感じた。一方で主会場から場所の離れたスペースには来場者が足を運びづらい印象を受けた。場所の不利さを感じさせない内容も重要であるが、他のスペースへの来場を互いに促すような連携をすればもっと多くの来場者に体感してもらえ、かつスタッフのやりがいや満足感が増すような気がする。来年も来場者とスタッフが共に更に楽しめる内容の体感スペースの出展を期待したい。なお、技術部で毎年出展してきた、かねたんの記念写真の体感スペースがなかったことを残念に思う来場者が多かったとのことなので、来年の出展を検討いただきたい。



技術部出展体感スペース (4件)

- No. 11 : 身近なすぐれもの“ハブダイナモ”ってなに? (地域連携担当)
- No. 20 : 紙の計算機を作ってみよう (機器開発技術)
- No. 32 : ミネラルウォーターの味の違いを調べよう (機器分析技術室)
- No. 40 : カラフルカプセルを作ろう (計測技術室)

実行委員(技術部関係)

- 村上 聡 (副実施責任者)
- 大竹哲也 (ガイドブック担当)
- 高橋尚矢 (ホームページ担当)
- 三浦信一 (記録担当)
- 山吉康弘 (技術部調整連絡)



体感スペース 11



体感スペース 20



体感スペース 32



体感スペース 40